

# ひまわりの種から油を取る

## バイオマス推進事業を

### 実施中!!



#### バイオマスとは

バイオマスとは、石油など化石資源以外の再生可能な資源のうち、ひまわりなど生物由来の有機性資源のことで、燃料や製品の原料として循環利用可能な、地球にやさしい資源です。

#### バイオマス推進の目的

休耕田や耕作放棄地を活用してひまわりなどの油糧作物を栽培し、大気中の二酸化炭素を増加させないバイオディーゼル燃料（BDF）を生産・利活用し、循環型社会経済システムの形成、地球温暖化の防止、農地の保全、美しい景観形成などをめざしています。

#### ひまわりの栽培

5月22日にそれぞれ、ひまわりの種をまきました。中川原地区では、地域住民や子どもたち合わせて100名近くの方が力を合わせて行いました。

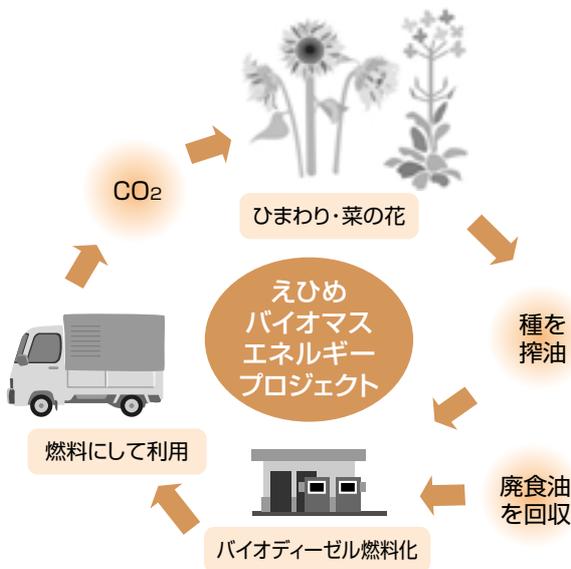


▲ 5月22日中川原地区種まきの様子

7月中旬ごろから咲いたひまわりの花が見られるようになり、中川原地区では、7月30日にひまわり祭りが行われました。ひまわりの油を混ぜた油で揚げたじゃこてんの販売や写生大会なども行われ、大勢でにぎわいました。

松前町では、えひめバイオマスプロジェクトのモデル町として、今年度、ひまわりを栽培し、ひまわりの種から油を取って燃料などに活用する松前町バイオマス推進事業を行っています。ひまわり栽培は、実績のある「NPO いよ環境センター」と「松前町まちづくり塾」にそれぞれ、中川原で4反、西古泉で2反、種まきから収穫までを委託しました。

7月中旬から8月中旬には、夏の太陽に向かって咲くひまわりの花が楽しめました。



▲ 5月22日西古泉地区種まきの様子



▲ 7月30日中川原地区ひまわり祭りでバイオマス推進事業のPR